

2月27日(月)

理科室から発信 NO9



校庭にビオラの花が咲き始めました。休みの日にも親子で観察する場面を見かけるようになりました。花の数が増えるにつれて、自分の花の世話を熱心に行うようになりました。物言わぬ花の世話ですから、花がよく育つためにはどうしたらよいか、考えなければいけません。一人一鉢運動のねらいは、「児童一人一人が草花を育て花に触れる機会を通し、生命を大切に作る心や美しいものに感動する心を育てる機会とし、学校全体で取り組む。(心豊かで思いやりのある子)」です。花を育てることを通して、心を育てているのですね。



先日、6年から5年生へ委員会活動の引継ぎが行なわれました。どの委員会も一生懸命、自分の持ち場を責任をもって、頑張っているところです。委員会活動では、役割を持って働くことで、必要とされる「やりがい」や「責任感」「努力」を学びます。